

子どもの医療費助成制度が充実へ

小中学生の入院も無料に

開会中の市議会に子どもの医療費無料制度を充実する議案が提案されています。私たち日本共産党は、美口光男さんの時代から長年、子どもの医療費無料制度の充実を一貫して求めてきました。

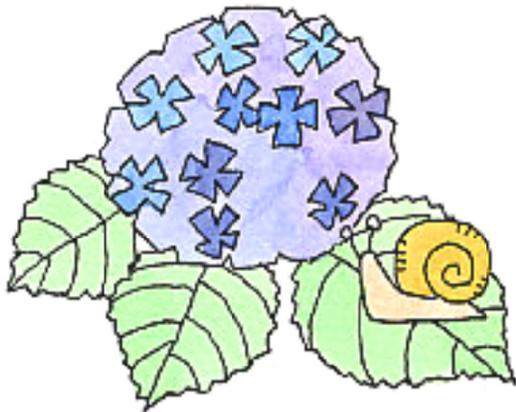
日本共産党

一貫して充実求める

「乳幼児医療費助成制度」は、署名運動など市民の強い要望を受けて、1973年（S48年）10月にゼロ才の入院のみ助成する制度としてスタートしました。その後も充実を求め続け少しずつ充実され、今は、別府市では小学校入学前までの子どもさんの入院・通院の医療費が無料です。

県の制度は、1回500円（上限あり）の自己負担が必要ですが、2008年（H20年）4月から3才以上就学前の子どもさんについても500円負担を市が負担し、無料となりました。

県の制度は、1回



提案されている条例案は、これまでの制度に加えて、県の制度充実を受け今年10月から小学生・中学生の入院費を無料にするというものです。

今後さらに充実を要望

県の制度は1日500円の自己負担が必要（上限あり）ですが、別府市ではその500円分を市が負担し自己負担なしにするという提案です。

えんど久子市議は、15日にこの条例案について質疑しました。えんど市議の質問に「対象人数は小学校入学前の乳幼児が約5500人、小中学生が約9000人、計約1万4500人。制度改正にともなう予算は、制度の拡充分として年間

約1700万増加し、そのうち市の負担は950万円あまり増える」と見込まれる」と答弁しました。えんど市議は、別府市よりすすんだ市町村が県内に8ヶ所あり、今後さらに充実を求めました。

国の制度にすべき

えんど市議は「この制度は、全国の自治体で実施しているが、国は予算を出していない。国の制度とするよう日

本共産党は国会でも求めていく。市も国に要望しているが、今後とも要望してもらいたい」と求めました。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.432
2010.6.15

猿渡（えんど）久子市議が求める

幼稚園や小中学校に扇風機を

すべての教室に急いで扇風機を

幼稚園の耐震補強計画・設計の予算が提案されています。

えんど久子市議はこの予算の質疑の中で、「幼稚園のホールには扇風機があるが、保育室には扇風機もない。クーラーが望ましいが、せめて扇風機を早急に設置すべき。過去にクーラーや扇風機を求めた時に『改修や耐

震化工事の際に検討したい』と答弁があったが、扇風機なら工事の際でなくとも設置できる。幼稚園・小中学校ともに早急に扇風機を」と求めました。教育次長が、検討したい旨の答弁をしました。

小中学校は一部に扇風機がありますが、すべての教室にできるだけ早く設置させましょう。

中山間地交付金は今後も交付

中山間地域直接支払い交付金の予算が提案されています。この予算についてえんど市議が質疑。

質問に答え「農地の保全などのための交付金で、交付単価は10アールあたり2万1000円。今回は第3期対策で5カ年事業となっている。内成

地区と天間地区が対象になる」など内容を答弁しました。

この制度は、地域のみなさんから継続の要望が強く、政府交渉の際にも大分県下の議員と一緒に農水省に要望したり、市議会でも質問したりした経緯があります。

大分県下の乳幼児医療費助成制度の現状
2010(H22). 4. 1.

市町村名	食事療養費助成				
	3才未満	就学前	小3まで	小6まで	中3まで
豊後大野市	■	■	■	■	■
姫島村	■	■	■	■	■
九重町	■	■	■	■	■
玖珠町	■	■	■	■	■
日田市	■	■	■	■	■
佐伯市	■	■	■	■	■
由布市	■	■	■	■	■
津久見市	■	■	■	■	■
竹田市	■	■	■	■	■
別府市	■	■	■	■	■
中津市	■	■	■	■	■
臼杵市	■	■	■	■	■
豊後高田市	■	■	■	■	■
杵築市	■	■	■	■	■
宇佐市	■	■	■	■	■
国東市	■	■	■	■	■
日出町	■	■	■	■	■
大分市	■	■	■	■	■

■ 一部自己負担なしで助成
■ 一部自己負担ありで助成



内成棚田の夏（2008年撮影）

